

ICT活用工事積算要領（基礎工編）（令和7年4月改定版）

ICT活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・ 共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
漁港漁場関係 構造物工事	7.97% (7.96%) [7.93%]	134.0 (134.0) [134.6]	-0.1808 (-0.1809) [-0.1814]	2.79% (2.78%) [2.77%]

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

※ICT 海上地盤改良工を含む工事を発注する場合は [] 内の率を適用する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 10 億円以下		10 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
漁港漁場関係 海岸工事	13.07% (12.50%)	407.7 (481.3)	-0.2204 (-0.2339)	4.23% (3.78%)

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{（小数 3 位四捨五入）}$$

ただし、

K r ：共通仮設費率（%）

P ：共通仮設費率の算出対象額（円）

a、b：定数値

② 「ICT 施工」代価表

作業船乗組員の働き方改革の実現に向けた積算上の試行的取組の対象工事については、就業時間等を見直して適用するものとする。

現場条件により作業船の拘束が発生する場合は、別途考慮すること。

（1）捨石投入 1,000m³当り

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	摘 要
捨 石	～ kg／個	m ³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜 水 士 船 運 転	D270PS 型 3～5t 吊	日	1,000×(1+W/100)/Q	就業 8H
施工管理システム		日	1,000×(1+W/100)/Q	損料
雑 材 料				

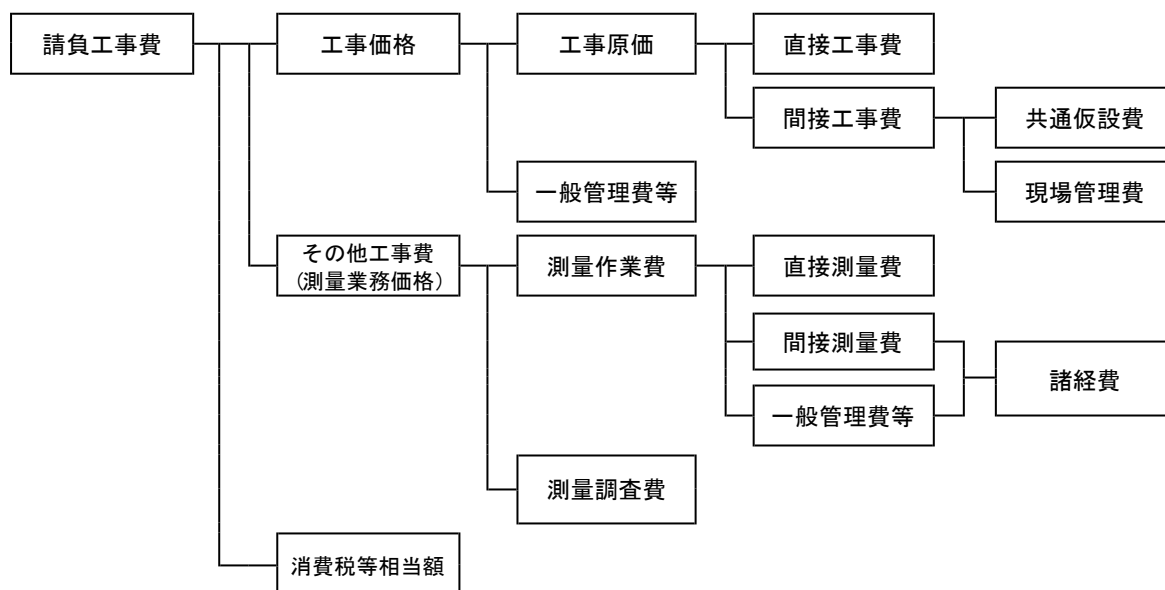
(2) 機械均し 1日 (m³) 当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
捨石均し船 運転	1,000PS 型	日	1	運 6H／就 10H
揚 錨 船	鋼 D 15t 吊	〃	1	就業 8H
潜 水 士 船	D270PS型 3～5t 吊	〃	1	就業 8H
引 船	鋼 D 1,500PS 型	〃		運 2H／就 8H
雑 材 料				

③ 測量業務価格（3次元起工測量及び3次元出来形管理の費用）

- ・別紙により算出する。なお、別紙記載の『基準』とは『第2部漁港漁場関係事業調査設計・測量業務等の積算基準』である。
- ・「成果物」「諸経費」は、3次元起工測量及び3次元出来形管理（施工履歴データ（機械均し）・マルチビーム）の直接測量費の合計を対象金額として算出する。
- ・測量調査費については、別紙により算出する。
- ・「その他原価」「一般管理費等」は、3次元設計データ作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

④ 算出した③測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(3次元起工測量)

項目

ICT基礎工事実施に使用する特定代価

数量計算等

細 別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要
測量準備	測 量 準 備		式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のもの は小数3位四捨五入とする。	四捨五入
	機材運搬		式		
水深測量	検潮基準測定		式		
	検潮	測定日数	日		
	検潮資料整理	測定日数	日		
	艀装テスト		式		
	マルチビーム測深		式		
成果	起工時データ整理(MBC)		式		
	起工時データ整理	測深面積	式		
	3次元設計データ作成		施設		
	成果品		式		

① 測量準備

測量準備 1式当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
主 任 技 師	測 量	人	1	(外業 1) ※2-1=1
技 師	〃	〃	1.5	(外業 1.5) ※3-1.5=1.5
技 師 補	〃	〃	1	(外業 1) ※2-1=1
助 手	〃	〃	0.5	
雑 材 料		%	1	

※保安部等関係部署調整は元請けが行うものとし、外業分を控除

※上記には、竣工時の測量準備も含むものとする。なお、これによりがたい場合は別途考慮する。

※関係機関に発注者は除く。

② 機材運搬

機材運搬 (2往復当り) 1式当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
測 量 補 助 員		人	2	
ト ラ ッ ク	2t積	日		標準運転時間
雑 材 料		%	1	

※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。

③ 検潮基準測定

検潮基準測定 1式当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
主 任 技 師	測 量	人	1	
技 師	〃	〃	1	
雑 材 料		%	1	

※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。

④ 検潮

検潮 1日当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H
助 手	測 量	人	0.3	
雑 材 料		%	1	

※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。

ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(3次元起工測量)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	技 師	測 量	人	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	1	
	雑 材 料		%	1	
⑥ 艀装テスト	艀装テスト 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1.5	
	技 師 補	〃	〃	1.5	
	助 手	〃	〃	1	
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	1	
⑦ 測 深	測深 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	2	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。 ※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の損料等により計上する。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。 測深は1日で設定しているが、測量箇所が点在するなど測深に1日以上要する場合は別途考慮する。					

ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(3次元起工測量)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑧ 測 深 デ ー タ 整 理	OMBCを活用することを標準とする				
	起工時データ整理		1式当り		
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	主 任 技 師	測 量	人	3.0	
	技 師	〃	〃	4.0	
	技 師 補	〃	〃	0.5	
	雑 材 料		%	4	電算機含む
	※MBC:マルチビームデータクラウド処理システム				
	OMBCを活用できない場合に適用				
	起工時データ整理1式当り				
⑨ 3 次 元 設 計 デ ー タ 作 成	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	主 任 技 師	測 量	人		作業能力の算定による
	技 師	〃	〃		〃
	技 師 補	〃	〃		〃
	雑 材 料		%	4	電算機含む
	名 称	マルチビーム測深		摘 要	
	主 任 技 師	3+1.3×A		A:測深面積(k㎡)	
	技 師	4+1.2×A		測深面積(k㎡)は小数3位四捨五入とする	
	技 師 補	5+12.3×A			
	※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。				
⑩ 成 果 報 告	成果報告 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	業務成果品費		式	1	
	※基準2編1節3-5-2 業務成果品により計上する。				
	※竣工時にマルチビーム測量やデータ整理等を行う場合は、本代価表で計上する。				

《施工履歴データを用いた出来形管理を行う場合》

ICT基礎工に適用する施工履歴データを用いた出来形管理の歩掛について

(3次元出来形管理(施工履歴))

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価																	
数量計算等	<table><tr><td>細 別 (レベル4)</td><td>積算要素 (レベル6)</td><td>内 容</td><td>単位</td><td>数 位</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>成果</td><td>3次元出来形管理(施工履歴)データ整理</td><td>計測面積</td><td>式</td><td>1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。</td><td>四捨五入</td></tr></table>						細 別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要	成果	3次元出来形管理(施工履歴)データ整理	計測面積	式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。	四捨五入
細 別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要													
成果	3次元出来形管理(施工履歴)データ整理	計測面積	式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のものは小数3位四捨五入とする。	四捨五入													
① 施工履歴データ整理	(参考歩掛)																	
	3次元出来形管理(施工履歴)データ整理 1式当り																	
	名 称		形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要												
	主 任 技 師		測 量	人		作業能力の算定による												
	技 師		〃	〃		〃												
	技 師 補		〃	〃		〃												
	雑 材 料			%	4	電算機含む												
	名 称		施工履歴データ整理		摘 要													
	主 任 技 師		4+0.6×A		A:計測面積(k㎡) 計測面積(k㎡)は小数3位四捨五入とする													
	技 師		10+5.1×A															
	技 師 補		9+4.6×A															
	※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。																	

《マルチビームを用いた水深測量(出来形測量)を行う場合》

ICT基礎工に適用する深浅測量の歩掛について

(3次元出来形管理(マルチビーム))

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	細 別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要
	測量準備	機材運搬		式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のもの は小数3位四捨五入とする。	四捨五入
	水深測量	検潮基準測定		式		
		検潮	測定日数	日		
		検潮資料整理	測定日数	日		
		艀装テスト		式		
		マルチビーム測深		式		
	成果	3次元出来形管理(マルチ ビーム)データ整理	測深面積	式		
① 測量準備						
② 機材運搬	機材運搬 (2往復当り) 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	測 量 補 助 員		人	2		
	ト ラ ッ ク	2t積	日		標準運転時間	
	雑 材 料		%	1		
※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。						
③ 検潮基準測定	検潮基準測定 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	主 任 技 師	測 量	人	1		
	技 師	〃	〃	1		
※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。						
④ 検潮	検潮 1日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	助 手	測 量	人	0.3		
	雑 材 料		%	1		
※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。						
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	技 師	測 量	人	1		
	技 師 補	〃	〃	1		
	助 手	〃	〃	1		
雑 材 料						

ICT基礎工に適用する深淺測量の歩掛について

(3次元出来形管理(マルチビーム))

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑥ 艀装テスト	艀装テスト 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1.5	
	技 師 補	〃	〃	1.5	
	助 手	〃	〃	1	
	測 量 船（運 転）	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
雑 材 料		%	1		
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。					
⑦ 測 深	測 深 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測 量 船（運 転）	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
雑 材 料		%	2		
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の損料等により計上する。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。 測深は1日で設定しているが、測量箇所が点在するなど測深に1日以上要する場合は別途考慮する。					
⑧ 測 深 デ ー タ 整 理	3次元出来形管理(マルチビーム)データ整理 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	主 任 技 師	測 量	人		作業能力の算定による
	技 師	〃	〃		〃
	技 師 補	〃	〃		〃
	雑 材 料		%	4	電算機含む
	名 称	マルチビーム測深			摘 要
	主 任 技 師	4+0.6×A			A: 測深面積(k㎡)
	技 師	10+5.1×A			測深面積(k㎡)は小数3位四捨五入とする
	技 師 補	9+4.6×A			
※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。					